

道路整備事業（補助）

会計 款 項 目 【31151】
01 08 02 03

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	道路河川課		
施 策	01	道路環境の整備	計画年度	2011 (H23) 年度 ~ 2024 (R6) 年度		
基本事項	01	道路の整備	総合戦略		重点事項	
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市が管理する道路（認定市道）			道路整備工事を実施します。 <事業概要> ・市道Ⅱ-2号線（袋田工区）：舗装 L=215m、 測量・設計 L=700m ・市道Ⅰ-2号線（森宿工区）：改良 L=125m、舗装L=250m 用地補償 N=1式 建物補償 N=1棟 ・市道Ⅱ-27号線（狸森工区）：舗装 L=300m ・市道Ⅰ-22号線（塩田工区）：測量・設計 L=900m ・市道 2155号線（西川工区）：地質調査 N=1式 測量・設計 L=450m			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
安全・安心かつ円滑な道路交通網の形成が図られます。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	事業費		千円	162,850		
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）		%	41.6		
事業費			千円	162,850		
		うち一般財源		8,225		
備考						

道路整備事業（単独）

会計 款 項 目 【31152】
01 08 02 03

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	道路河川課		
施 策	01	道路環境の整備	計画年度	2018 (H30) 年度 ~ 2022 (R4) 年度		
基本事項	01	道路の整備	総合戦略		重点事項	
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市が管理する道路（認定市道）			道路整備工事を実施します。 <事業概要>（市内一円） ・道路改良工事 N= 3路線 ・舗装新設工事 N= 3路線 ・簡易舗装工事 N=12路線 ・側溝整備工事 N= 7路線 ・予備設計及び地質調査 N= 1路線 ・土地及び物件補償 N= 1式			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
生活道路を整備することにより、道路環境が向上します。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	事業費		千円	113,350		
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）		%	73.5		
事業費			千円	113,350		
		うち一般財源		99,350		
備考						

橋りょう修繕事業（補助）

会計 款 項 目 【31153】
01 08 02 04

政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	道路河川課		
施策	01	道路環境の整備	計画年度	2018 (H30) 年度 ~ 2022 (R4) 年度		
基本事項	03	橋りょう長寿命化の推進	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市が管理する橋りょう（認定市道）			橋りょうの長寿命化を図るため、定期点検結果に基づき、診断結果Ⅲ以上の橋りょうについて修繕を実施します。 <事業概要> ・修繕工事 N=6橋			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
橋りょうの機能保全の確保と長寿命化により、橋りょう維持管理費を縮減します。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	修繕済橋りょう数		基	25	36	37
成果指標	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率		%	53.0	77.0	79.0
事業費			千円	152,000		
うち一般財源				6,900		
備考						

牡丹台アメニティゾーン整備事業

会計 款 項 目 【31322】
01 08 04 04

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	都市計画課		
施 策	02	住環境整備の推進	計画年度	2019 (R1) 年度 ~ 2024 (R6) 年度		
基本事項	01	適切な土地・建物の利用推進	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民・来訪者			牡丹台アメニティゾーンの計画・整備を行います。 <全体計画> 2019 (R1) 年度 サウンディング型市場調査 2020 (R2) 年度 基本計画・基本設計 2021 (R3) 年度 実施設計（予定） 2022 (R4) ~2024 (R6) 年度 造成・建築工事等（予定）			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
本市観光資源の牡丹園とアメニティゾーンの連携により、四季を通じて活用できる複合的な土地利用が図られます。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	年度別事業費		千円	20,271		
成果指標	事業進捗率（事業費ベース）		%	100		
事業費			千円	20,271		
		うち一般財源		1,771		
備考						

駅西地区東西幹線道路整備事業（補助）

会計 款 項 目 【30641】
01 08 04 01

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	都市計画課		
施 策	02	住環境整備の推進	計画年度	2017 (H29) 年度 ~ 2023 (R5) 年度		
基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
駅西地区 市民及び来訪者			東西幹線道路（市道1104号線）の整備により、駅西地区の利便性を向上させます。また、都市再生整備計画と連携し、良好な住環境の形成と公共交通の円滑化を図ります。 <全体計画>事業計画延長 L=600m, 幅員 W=6~12m 2017 (H29) 年度 実施設計、用地測量、物件調査 2018 (H30) 年度 物件移転補償、用地補償 2019 (R1) 年度 物件移転補償、用地補償、道路改良工事 2020 (R2) ~2023 (R5) 年度 道路改良工事 舗装工事 <2020 (R2) 年度事業概要> 道路改良工事 延長 L=20m, 幅員 W=6~9m 水道移設補償 N=1式			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
東西幹線道路の整備により、駅西地区の利便性が向上します。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）		%	7.9	5.9	5.9
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）		%	72.4	78.3	84.2
事業費			千円	40,000		
		うち一般財源		1,800		
備考						

駅西地区都市再生整備事業（補助）

会計 款 項 目 【31119】
01 08 04 01

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	都市計画課		
施 策	02	住環境整備の推進	計画年度	2018 (H30) 年度 ~ 2023 (R5) 年度		
基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
駅西地区 市民及び来訪者			駅西地区の都市再生整備計画に基づき、須賀川駅東口の交通渋滞解消と駅西側の利便性を向上させ、良好な住環境の形成を図ります。 <全体計画> 事業計画面積 A=30.0ha 2019 (R1) 年度 自由連絡通路（設計）、道路（設計、用地補償） 2020 (R2) ~2023 (R5) 年度 道路、駅前広場、公園等（用地補償、工事） 2021 (R3) ~2023 (R5) 年度 自由連絡通路等（工事） <2020 (R2) 年度事業概要> 自由連絡通路（設計）、道路・公園（工事）等			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
駅西地区の都市再生整備により、駅西側の住環境が充実し、交通結節点の利便性が向上します。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）		%	5.0	8.5	30.2
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）		%	9.8	18.3	48.4
事業費			千円	146,874		
うち一般財源				9,081		
備考						

駅西地区都市再生整備事業（単独）

会計 款 項 目 【31118】
01 08 04 01

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	都市計画課		
施 策	02	住環境整備の推進	計画年度	2018 (H30) 年度 ~ 2023 (R5) 年度		
基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
駅西地区 市民及び来訪者			駅西地区の都市再生整備計画に基づき、須賀川駅東口の交通渋滞解消と駅西側の利便性を向上させ、良好な住環境の形成を図ります。 <全体計画> 事業計画面積 A=30.0ha 2018 (H30) 年度 修正設計調査（自由連絡通路、橋上駅） 2019 (R1) ~2020 (R2) 年度 設計（駅橋上化等） 2021 (R3) ~2023 (R5) 年度 工事等（駅橋上化等） 2019 (R1) ~2023 (R5) 年度 不動産鑑定、整地工事等 <2020 (R2) 年度事業概要> ・設計業務 須賀川駅駅舎整備（負担金） 東西自由連絡通路関連			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
駅西地区の都市再生整備により、駅西側の住環境が充実し、交通結節点の利便性が向上します。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）		%	1.8	5.9	17.8
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）		%	3.2	9.1	26.9
事業費			千円	21,288		
うち一般財源				21,288		
備考						

合併処理浄化槽設置整備補助事業

会計 款 項 目 【30385】
01 04 01 03

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	下水道施設課		
施 策	04	生活排水対策の推進	計画年度	1996 (H8) 年度 ~		
基本事項	01	生活排水処理施設の整備	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民（合併処理浄化槽を設置する者）			合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付します。 ・補助区域 下水道整備予定区域外 農業集落排水施設整備区域外 ・補助対象 一般住宅の10人槽以下の合併処理浄化槽 ・補助内容 合併処理浄化槽の設置費補助 単独処理浄化槽・汲取り便槽の撤去費補助			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			※2018 (H30) 年度から10年間に限り、単独処理浄化槽又は汲取り便槽からの転換を推進する上乘せ補助を行います。なお、概ね7年以上、下水道整備が見込まれない区域は、これまでと同様に補助対象となりますが、上乘せ補助は対象外です。			
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	補助金交付件数		件	55	75	100
	単独処理浄化槽等からの転換基数		基	30	45	70
成果指標	転換進捗率		%	9	14	23
	事業費		千円	27,765		
うち一般財源			16,637			
備考						

合併処理浄化槽維持管理事業

会計 款 項 目 【31158】
01 04 01 03

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	下水道施設課		
施 策	04	生活排水対策の推進	計画年度	2018 (H30) 年度 ~ 2036 (R18) 年度		
基本事項	03	処理場・下水道管の適切な維持管理	総合戦略	重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民（合併処理浄化槽を管理している者）			合併処理浄化槽の管理者に補助金を交付します。 ・補助区域 下水道供用開始区域外 農業集落排水施設整備区域外 ・補助対象 一般住宅の10人槽以下の合併処理浄化槽 ・補助要件 浄化槽法に基づく維持管理の実施 浄化槽法第11条検査を受検し、検査の結果が「不適正」でないこと ・補助内容 10年間、合併処理浄化槽の維持管理費補助 ※2018 (H30) 年度からの10年間に初回の補助金交付があった合併処理浄化槽を対象に、10年間（年1回、最大10回）補助を行います。			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			合併処理浄化槽が適正に維持管理され、公共用水域の水質が向上します。			
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	補助金交付件数		件	970	1,360	1,750
	合併処理浄化槽（10人槽以下）の11条検査受検率		%	57	59	61
事業費		千円	11,791			
うち一般財源			11,791			
備考						
11条検査とは、保守点検や清掃などの維持管理が適正に行われ、浄化槽の機能が正常に維持されているかを確認する毎年1回の浄化槽法に基づく法定検査です。						

再生可能エネルギー等利用推進事業

会計 款 項 目 【30390】
01 04 01 03

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	環境課		
施 策	05	環境の保全と循環型社会の形成	計画年度	2016 (H28) 年度 ~		
基本事項	01	低炭素社会の推進	総合戦略	○ 重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民（一般住宅を所有する者）			一般住宅への再生可能エネルギー等装置設置に対し、費用の一部を助成します。 <補助対象> ・太陽光発電システム ・定置用リチウムイオン蓄電システム ・エネルギー管理システム（HEMS） ・地中熱利用システム			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
再生可能エネルギー等システムの導入が図られ、二酸化炭素の排出量が削減されています。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	補助金交付件数		件	149	149	149
成果指標	住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数		件	149	149	149
事業費			千円	9,381		
うち一般財源				9,381		
備考						

ESD環境教育推進事業

《新規》 会計 款 項 目 【31396】
01 04 01 03

政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	環境課		
施 策	05	環境の保全と循環型社会の形成	計画年度	2020 (R2) 年度 ~		
基本事項	01	低炭素社会の推進	総合戦略	○ 重点事項		
対象（誰、何に対して働き掛けるのか）			手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民			ESD（持続可能な開発のための教育）の視点を取り入れた環境学習（教育）や啓発を行います。 ・環境学習（希望する学校、公民館講座、一般募集型） ・啓発活動（産業フェスティバルにおいて啓発、広報・ホームページでの啓発） ・環境教育副読本の作成・配布（市内小学5年生対象）			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
ESDの視点を取り入れた環境教育を推進することで、環境問題が認識され、ESDの浸透が図られています。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	環境学習実施回数		回	16	25	25
	啓発回数		回	10	10	10
成果指標	環境学習実施後の「意識が向上した」人数の割合		%	75	75	75
事業費			千円	1,518		
うち一般財源				1,518		
備考			ESDとは、SDGsに関連した取組で、一人ひとりが世界の人々や将来世代、また、環境との関係性の中で生きていることを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育のことです。SDGsとは、17のゴール、169のターゲットで構成される誰も取り残さない持続可能な開発目標のことです。			

資源回収実施団体奨励金等支給事業

会計 款 項 目 【30419】
01 04 02 02

政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	担当課	環境課		
施策	05	環境の保全と循環型社会の形成	計画年度	2010 (H22) 年度 ~		
基本事項	05	3R (リデュース、リユース、リサイクル) の推進	総合戦略	○	重点事項	
対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)			手段 (事務事業の内容、やり方、手順)			
資源回収実施団体			育成会、町内会等が資源回収を実施した場合に、その収集量に応じて奨励金を支給します。(5円/kg) 上記の団体から資源物を引き受けている事業者に対し、その引受量に応じて助成金を支給します。(1円/kg) <手順> ・年度ごとに団体を登録します。 ・地域で資源を回収し、業者へ資源を引き渡します。 ・業者発行の仕切書を添付し、奨励金等を交付申請します。 ・申請に基づき、奨励金等を支給します。			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)						
資源回収が促進され、リサイクルが図られています。						
指標名			単位	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画
活動指標	奨励金支給額		千円	3,900		
	助成金支給額		千円	600		
成果指標	資源回収量		t	750	750	750
事業費			千円	4,500		
うち一般財源				4,500		
備考						